

岡山県内の中小企業（製造業）における景況状況について

岡山県と（公財）岡山県産業振興財団では、県内の中小企業（製造業）における景況状況について、アンケート調査を行いましたので、調査結果の概要をお知らせします。

記

- 1 調査対象 岡山県内の中小企業者（製造業） 780 社に対して調査を行った。
- 2 調査方法 調査票によるアンケート方式
- 3 調査時点 平成26年2月1日（土）
- 4 回収企業 329企業（42.2 %）
- 5 集計結果の概要

（1）稼働状況

稼働状況について、稼働率 80%以上の企業が前回より 7.1 ポイント増の 79.7%となっており、前回より増加している。

（2）景況判断

岡山県内企業の景況について、各設問の DI（前年同月比で「良い」と答えた企業から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）を見てみると、

- ・「売上高（生産高）」は、前回より 14.0 ポイント増の 7.8 ポイントとなっている。
- ・「受注量」は、前回より 17.6 ポイント増の 15.0 ポイントとなっている。
- ・「受注単価」は、前回より 8.1 ポイント増の-15.5 ポイントとなっている。
- ・「資金繰り」は、前回より 4.9 ポイント増の-8.5 ポイントとなっている。
- ・「収益性」は、前回より 8.3 ポイント増で-17.3 ポイントとなっている。
- ・「雇用状況」は、前回より 7.7 ポイント増の 13.1 ポイントとなっている。
- ・「設備投資」は、前回より 2.4 ポイント増の-26.8 ポイントとなっている。
- ・「売上高（生産高）」、「受注量」、「受注単価」、「資金繰り」、「収益性」、「雇用状況」、「設備投資」の設問で、DI の上昇がみられる。

（3）今後の見通し

今後の見通しDIとしては、

- ・「3ヶ月先の生産見通し」は、前回より12.8ポイント減の-8.3ポイントとなっている。
- ・「6ヶ月先の生産見通し」は、前回より0.5ポイント減の-5.8ポイントとなっている。
- ・「3ヶ月先の生産見通し」、「6ヶ月先の生産見通し」にDIの下降が見られる。